

# 北海道浮魚ニュース

平成 26(2014)年度 4 号

2014 年 6 月 13 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・ スルメイカの分布密度は前年並みで低い。
- ・ 体サイズのモードは前年より 1cm 小さい。

調査期間：2014 年 6 月 2～9 日

調査海域：道東太平洋（北緯 41 度ライン周辺の 7 調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機 6 台装備

### 1. 水温分布（図 1）

調査点の表面水温は 7.5～13.2℃で、ほとんどの点で前年（9.4～14.5℃）を下回りました。調査海域の東側は 12～13℃台となっていました。

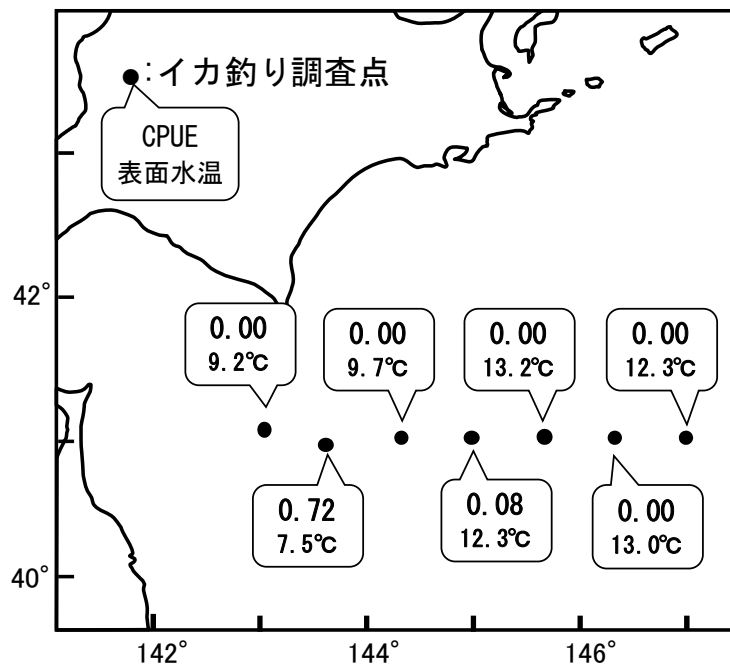


図 1 2014 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温  
※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

### 2. 分布密度（図 1、図 2）

7 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果、分布密度（CPUE：イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）は 0.00～0.72 でした（図 1）。スルメイカは 2 調査点で漁獲されましたが、分布密度はいずれも低い値でした。7 調査点の平均 CPUE は前年（0.10）とほぼ同じ 0.11 で、1993 年以降では 7 番目に低い値でした（図 2）。

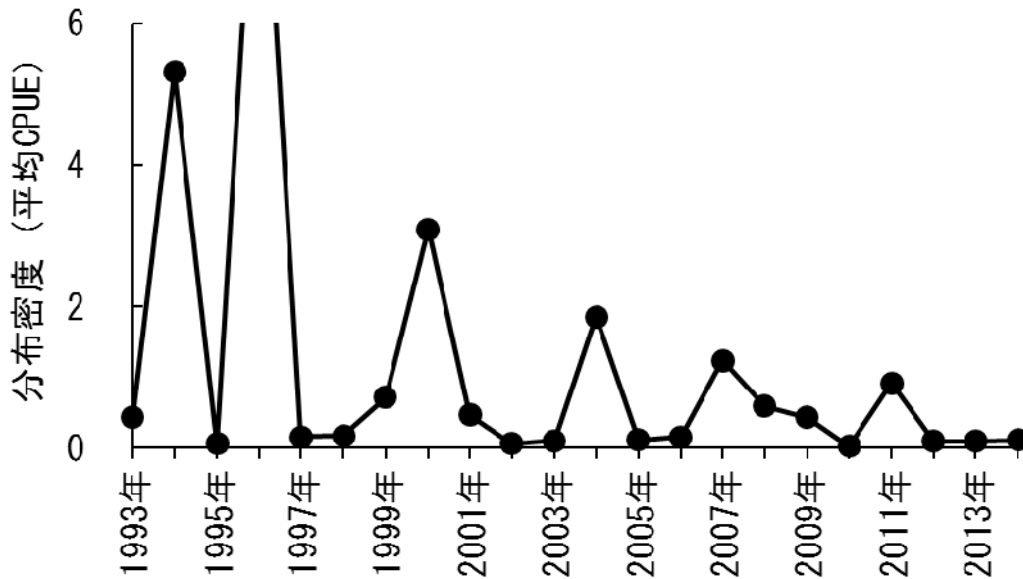


図2 スルメイカの分布密度の経年変化  
 ※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

### 3. スルメイカの大きさ (図3、表1)

スルメイカの外套長(胴長)の範囲は13~18cm(前年:5~16cm)にありました。モード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は15cmで、前年(16cm)より1cm小さかったものの、小型の個体の割合は前年に比べ低くなっていました。

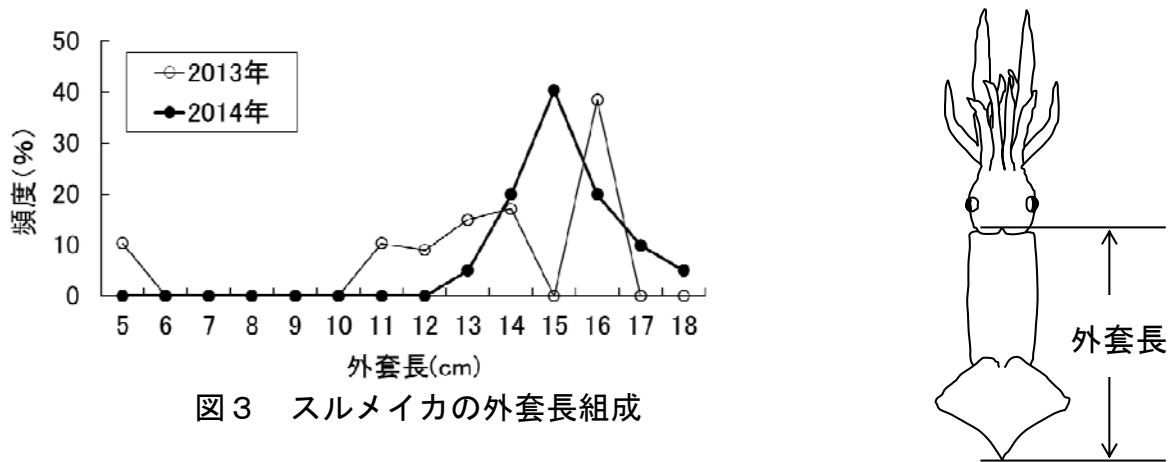


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2009~2014年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2009年 6/9~17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3~10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2~9	20	0.11	13-18	15	7

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)